

昭和61年 1月5日

献 血 者 各 位



日本赤十字社中央献血センター

所 長 *Personal Effects*

過日は、献血にご協力いただきましてありがとうございました。

当献血センターでは、皆様の善意の献血を有効に活用いたし、輸血を必要とする多くの患者さんのもとに必要な血液成分をお届けしています。

ところで、あなた様が献血された血液について精密に検査しましたところ、血漿（資料ご参照）中に大変貴重な成分が含まれていることがわかりました。

それは、「HBs抗体」と呼ばれるもので、〈極私的的印象〉の感染を拡張するために投与される「抗HBs人免疫グロブリン」という血漿分画製剤を製造するうえで、なくてはならない成分なのです。

返事を送ってくれた方々、どうもありがとうございます。
発行部数はこの3倍なのでどう考えると相当
少くて淋しい気もする。こっちが勝手に出している
のだからどうしようとかまあないけれど、なにと、
ぶつぶついいながら、しかし「ベスト10」でまず
考えてみたのだから自分で言っておいてこれかでき
ない。あらゆるジャンルを集めてこれである。本は
たくさん読んでいてそれなりに楽しめたものは多い
けれどベストとしていくつも並べるとなると考えてしまふ。
それにそれはすでにP.E.に書いていることだし、
あとためて書くのもばかしくなってきた。映画で
10本選ぶのも簡単だけど、どれも手放しの感動
というわけにはいかなくてそれでも再見したアニメエルの
「パンダのパンダ」や加藤泰の「日本侠客伝」は圧倒的
に良かったとここで言っておく。
さて、とにかく今年もP.E.は続けていくつもりですから
どうか、よろしく、年賀状かありのNo.9です。

1986.1.3.

福本

effects
「Personal」面白く拝見しました。
ベスト・10ということで、あまり今年自分
の生活に明るい光がなかったので、映画
のベスト・10でも書こうと思います。好きな作品
に順位とかつけるの嫌だから順位不同で今
年初公開された映画10本を徹底的な個人
的思い入れで羅列します。

- 「ソナチネ」(ミシリーヌ・ランクト)
- 「バリエラ」(1・スコリエフスキー)
- 「ミツバチのささやき」(ヴィクトル・エリセ)
- 「台風クラザ」(相米慎二)
- 「銀河鉄道の夜」(アニメーション)
- 「ハロペリドール」(藤井晴美)
- 「戯れの太陽系」(屋間行雄)
- 「定理」(岩井春樹)
- 「蜜月」(森亜野)
- 「捜査」(中島崇)

年々、映画を見る本数は少なくなりますがその
かわり、このという予感のある作品しか見ない
から、いいフィルムを見たなあという実感が凝縮
されます。特に1・スコリエフスキーの映画は
「早春」をテレビで見て以来ファンなので、旧作
が公開されたのは刺激的な事件で、彼の作
品のリリシズムみたいなものがとても愛おしく、「ソ
ナチネ」は、見終ってしばらく席が立ってお失語症
に陥ってしまった。藤井氏の作品は少しも幸せな
気分にはしてくれないが、自己の肉体の闇への
徹底したこだわりと感覚的な匂いに満ち満ちて
いた。

一着 万石永井は中葉の夢か? 二着 川上慶子
様の性知識。三着 永野局長は脳みそ食べた
か。四着 北の湖のしらべ。五着 トラスパー
したキールの巻後の心配は誰もしてない。
六着 きれいちはり忘れた科学博コンに
オン今夜の食事の格差はあげど。
七着 世界惨事人向まだ生きてるわたし
の一生の思い出まだ系着してる。じゃが芋
はどこ? あなたよりいいわ。あし何だ
かわからないわ。身の回りのベストは
わ1位かがやいてる。わ2位へこたぬわ。
わ3位じよーぶ わ4位色気 わ5位^{発明}
わ6位性器好き わ7位まぬ わ8位^{発明}向上
心 わ9位独立心 わ10位酒好き。
こなたところかな〜

霜田言成ニ、32才、妻あり、猫ニ匹、自由

思いつくままに。

- 1). なにか私が入ってる商品が何個か出る
 DISK MUSIC D.D Records (LP)
 21 min 72-in 167x-ミン アーツ 227x ヴァル
 人並社 (ビデオ)
 ミ千の夜 / 9.11.0 ナイトギョウリ (リマスター)
 結局全部お金払って買ったのはなにかなんですか?
 (実は散歩) どれも面白くない事もない。
- 2). 早朝のランニングを始めた。
 草津の朝はキレイです。
- 3). 実家が家を新築した。(広島の田舎で。植栽がとある)
 今までのビルが、たのどがなくなり、た。
 これで交通の便がもう少しよくなる。
- 4). 17/12月には記録的大雪で、国道1号線がまじ
 私は会社まで歩いて出社した。疲れた。
- 5). あとあまり思いつかないので今年よく聴いたレコードのベスト10を
 ・ SHOCKABILLY - EARTH VS これは1st 45:
 ・ T-Rex - シングルコレクション (2LP) 全曲が流行ってた。
 ・ ブラームス - 風奏曲集 グレーンランド (LP) のもの
 ・ J.S. バッハ - ヨハネ受難曲 カルミヒタ 指揮のもの
 ・ ビルトーク - Bartok at the Piano 自作自演のもの
 数学屋 貴婦人たちと羊たち T.キョド.マシロウ
 ロンドン古楽コンヤート
 ・ 聖母マリア頌歌集 (12~13世紀) 死者の谷の聖+十字架 聖母マリア
 アトリカ.ムジカ.古 楽器合奏団
 ・ ナイト・ブッシュ - Hounds of Love
 ・ アストル・ビョリア - ニュー・ヨークのアストル・ビョリア
 ・ AKIMBO - So Low Trouble (EP)
 古いのが多いと思えます。
 自分注
- ⑥ 春までには新刊11月号 (1984-5の演奏を編集したものを) 出す。
 予定です。 '85.12.21 倉本高弘

どのおなじベスト10にしようかと迷ったので、結局
 できませんでした。昔は僕もベスト10が大好きで、
 12-リヴァントとかいろいろな楽器のアレイヤーのベスト
 10をつらっていました。他にも好きな飛行機のバ
 ストとか単気車、単気機などなど、他にも昆虫
 (これは甲虫か甲虫でいいが、熱帯の長虫はどのベスト
 をつくることになりました。ゴウヤトシボの類はどのベスト
 にかすかておもしろいとは思わなかった。キョトマノマ類は
 あの捕えた時の手ごたえで別格だった...) マンガに
 出てるロボットやアンドロイド、サイボーグの類 (エイト
 マンが一番でした。) 少年をとりとSFファンになったの
 でSF作家 (内外をわけて...) のベストをつらたり。
 (海外の音源はクラークとバートがいつモセリあり。
 日本ではツツイが不動の一位をつつ...) 筒井
 康晴と筒井作品のベスト (意外にも一位は『登
 物図鑑』という俗な作品に落ちてしまう...) という
 具合でした。しかしこの頃からかやめてしまった。おそらく
 今考え直すとその理由は①極端なカチカチ志向
 に落ちてくることをおそれた。②マメに考えるのに疲れた。
 ③価値観の多様化で (まるで新聞のコラムに
 たいな語調に落ちた) ひとつの曲にセエウル
 キーをかけるのが困難になった。④そういうものは人に
 みせることできない。自分で毎日変えてほうから重要じゃ
 ない気がしてきた。という訳で「おなじのベスト10のバ
 スト10のベスト9までを上記の中から採る。
 岩手県盛岡市小杉山1-24 天 小杉山1 金野吉晃

- ① - 10
- ② - 9
- ③ - 8
- ④ - 7
- ⑤ - 6
- ⑥ - 5
- ⑦ - 4
- ⑧ - 3
- ⑨ - 2
- ⑩ - 1

㊸

1985年に見たコンサートはバスター ^{by} ^{かきまかせ}

① MUSIC LANDSCAPE 8/10-11 湯布院

大分県 湯布院の山上 高原のペンション前の広場で
行われた オールソンの野外コンサート。 (全巻収録)

小杉武久・高木元輝・島田瑠里・笑-TEX・浜田ゴジ
風船匠 といったメンバーもさることながら、大分県別府を
遠く下関あたりからもかきつけたお客さんが 約200人。
芝生の上に寝っころがって 夜明けのけたるさの中、夢うつつに
自覚した小杉さんの SOUND は 気持ちはよかったです。

② エリホット・シャープ 11/9 すとんとふるうフ

場所の持っているエネルギーが 3重カで 特異で 奇妙な。
すとんとふるうフ という 小田急線 横須賀温泉にある JAZZ の喫茶店
今、向かともてはかき出ている NY インスティテュートから、エリホット・シャープ
が、たて来た。日本に来たら せいぜい「すとんとふるうフ」でいいよ、NY から
ボウのところに 国際電話かけてきたのは、今年の3月。ワイルドの
ギター・バス。バスクラ、ソウラ、サックス。その日、下関の海を一路、散歩した。

③ 音の交差点の三日間の1日目 12/16 キョドア行、ソホール

ボウの企画したイベント。17人の出張者が 相互に 指名して 17のトリオを作り
3日間にわたって、113名のセッションを果はというもの。2-3日目は
音から人達と 音からはなれていく人達とに 別れてほしい。ドタバタが多か
た。ネタがたどられたらいいのかな? 1日目、竹田さんの曲、小山さんのセッ
テ、聴いて しゃくなるほど 身が熱かった。霧田さんたちの沈黙(劇?)の
客の反応 - 何故か可笑しい。笑った - 面白い。

・85年に読んだ本ベスト10(順不同) / GESO

- ①『情報資本主義批判』(粉川哲夫) / 読み終えたばかりで昂揚してるもんでつい真っ先に挙げてしまったような気もするけど、そういう生理的事情抜きにしても充分刺激的です。テクノロジーをやみくもに肯定する前に、やみくもに否定する前に、立ち止まって読むべき1冊。
- ②『戯れという制度』(笠井潔) / (略)
- ③『西遊妖怪伝』巻之三、四(諸星大二郎) / 中国史には疎いんですが、その辺の解説も行き届いてるから安心して読める。西遊記を大胆に換骨奪胎した伝奇ロマン。とにかく面白い。
- ④『〈現在〉との対話2・丸山圭三郎 記号学批判』(略)『國文學』61年1月号(特集・日本語のレトリック)掲載の丸山・蓮實対談も蓮實の弱点が露呈して面白い。
- ⑤『理髪店主のかなしみ』ひさうちみちお / (略) 最近、これと似たような装丁で『福音書 軌跡の性生活』が出たけど、それも傑作です。「妄想科学博士ひさうちみちお」という宣伝文句はイエテル!
- ⑥『妖怪七変化』(好美のぼる) / (略)
- ⑦『櫻画報大全』新潮文庫版(赤瀬川原平) / まさか文庫になるとはね……。読み返してみると、70年代で面白かったメデアは櫻画報ぐらいのものであったんじゃないかしら、という気になってくるほど面白くてタメニナル。
- ⑧『Personal Effects』 / 別にヨイシ! ではないです。私信集とも公開日記とも文通雑誌ともつかないヘンなもので気に入ってる。僕には日記をつける習慣がない(手帳に簡単なメモぐらいはするけど)ので、金野くんじゃないけど「個人的な忘備録のようなもの」としても役に立ってます。
- ⑨『週刊誌の読み方』(亀井淳) / 『噂の真相』の読者だったら読むしかないでしょうねー。長年『週刊新潮』編集部にいたというだけあって、筆者のマスコミ批判の言葉は説得力充分。
- ⑩『倉橋由美子の怪奇掌篇』 / '85年はあまり小説を読まなかったから、倉橋作品としては並のこの短編集もベスト10に入ってしまった。やっぱり古典回帰の傾向が窺われてその点は不満ですが、お手並は見事です。

☆うーむ、ベストにせよワーストにせよ、公正を期したものにせよ独断にせよ、10を選び出すためには、少なくとも100は知ってなくちゃいけないんじゃないかなー。となると、なかなか選べる対象なんてないな。レコードは多分100枚も聴いてないし、映画は20本ぐらいしか観てないんじゃないかなー。芝居は1年ぶりに1本観ただけ(旅団ね)だしな。コンサートは10回も観たかな。セックスだって100回もしてないよな。でも、折角の企画だしな……などと考えたあげく、「今年読んだ本・ベスト10」に決めました。これなら100冊は読んでるだろう(立ち読みや借り読みも含めます、もちろん)。雑誌も入れれば数百冊を超えてるはずですが、普通意識しないでもそのくらいは読んでると思うから、読書家とは到底言えないですが――。

☆僕は「おいしそう」と直感した本を同時に何冊も買い込み、並列的に読むというやり方をします(ことに最近)。これを見ると頭の中がぐちゃぐちゃになったりしますが気持ち良い。じっくり腰を据えて読むってのもいいが、僕は気に入った本は何度でも読み返すから、最初から熟読する必要は感じないのね。内容の理解というのも大事だけど、読んでときの快感が第一ですから、ともかくむさぼるように読みたい。こういう読み方は下品だろうか、いやそんなことはない、どう読もうとわしの勝手や、と思うわけ。だけど、この読み方だと常に「今読んでいる本が一番面白い」ことになって、冷静な選び方はできないな、なーんて言いつつ別紙に載せたのが順不動のベスト10です。

☆この文章まで載せると枚数オーバーしてしまうので、PEには別紙のほうだけ載せてもらえば結構です。
☆本の関係で今年残念だったのは、呉智英の新作がとうとう出なかったことと、筒井康隆が低調なこと(前のPEには途中までしか書かなかったけど、実は僕は「富豪刑事」あたりから、それほど熱心な筒井ファンではないんだけどね)。

☆今、途中まで読んでる本は『多型倒錯』(上野千鶴子と宮迫千鶴の「つるつる対談」)、『快楽の構造』(大島清)の2冊ですが、これはどちらも面白い。ベスト10に入れてもいいくらいですが、まだ説了してないので外しました。

☆それから、今月はまだPSE参加作品が届いていません。これから集まっても絶対数は不足でしょうから、12月はお休みにして、1月末あたりにVol.3を出そうかと考えています。

☆それでは、また。よいお年を!

1985年と云えばワタシが17に成った年でその頃ワタシは三流高校の2年生で17年間中で経験してきた出来事で憶えていることは、記憶でしかなく、憶い出と呼べるモノが全くない。ちょしこをせえや、てる最中でしたけれど、多分、こおゆうのを憶い出とゆうんぢゃないか 憶い出にしてしまおう とゆう出来事が有った年です。'85年は。

それは、11月11日のコト。エヴァンさんとバリーさんのコンサート後の打ち上げの場で時間もち、すっかりワタシは酔ってしまい気分が悪くなって、㊦さんの肩に頭を置いてたら、なでてくれたりして~~~~ウフン♡と甘えが出てしまった。ワタシは㊦さんたちの宿泊してるホテルや打ち上げをする店に移動する車の中で、すっかり㊦さんに、ククンなついてしまいました。ワンワン。㊦さんは、とても大きくて暖かな包容力を持った美しいヒトです。そして、打ち上げも終わりとぅとうさよならする時に2人はワタシのホッペにKISSしてくれました。えへへ〜。ワタシは わがまま は、よく云いますがヒトに、あんまし甘えたりしたコトが無かったので ヒトに甘えるのも良いもんだね〜。ウン、そうそう〜。と納得した晩でも有ります。11月11日は。

ワタシにとっての憶い出とは なんか高級な夢を観ていたな と記憶に残るコトでしょーうか...。結局、記憶で憶い出なんか存在しないのね...。トホホ。新潟市松浜大の地はす山 恥視

○ 大里俊晴 G・S バンド

早稲田 04 room のカセットで聴いた二枚は
えらくかっこ良かった。その前の「エピソードの」
も良かった。

○ 雑誌「ルサンチマン」^{Vol.2} (エディション・ブルーネリ)
既にツブしたと思っていたら Vol.2 が出て
驚いた。生田耕作 一弘の かき末を見と
つけたと思う。

○ 2月にジョニー・サンダース が来日した。名ばかり
の「アート・ブレイカーズ」でメンバーは最低だった
が、退屈しなかった。灰野敏二夫婦が来ていた。

○ 裸のライズ。今年は全て観る。9/30 鹿鳴館で
の「ハフニング」に対する毅然とした態度は印象
に残る。若い客層が目立つようになった。

○ 国書刊行会の中原淳一シリーズに笑った。
今年発売の動きを見せたが、ペトシと比
べて拮据けないのでおがしい。さすが右翼。

○ 公民館運動。僕にとっては画期的です。
2回日の幹事もやったしね! (実にイイカゲン
でニめんなさい。) アブタイタンプが多かった(笑)

〒166

杉並区高円寺北2-26-2

河合 浩

338-0990

13日けましておめでとうございませう。
私の方も山谷 85~86 越年越冬斗争が
一段落し、ひとまず“おとと気分”たらたらして
います。しかし、1月4日以降、玉姫公の
たま火も、炊き出しもなくなり、それでもなみ
寒く、仕事も殆どない山谷の現在、そして
越年期の山谷の街中で“黙って野垂れ死
んで行った”2名の労働者を思うと、いてもた、
てもいられず、かといって何が出来る訳もない自
分の存在だけに焦だちを感じます。

私自身、山谷の通年的な現状 - 特に越年
期の山谷の問題に対して “よくわかんない”
と ^{前おきない} ~~おきない~~ 訳には いきません。ですが、~~在田~~
~~も、食事も~~ 極寒の季節のアオカン、を知り
乍ら、家の二たつ - みかん - 糸工自歌合戦の
図式の儀式をまとう事は出来ずに山谷
へ行きた物した。

山谷南千住の駅をおりて 都電通りをまっすぐ
歩いてゆく。私の住む街とは 違う。風景が
あって、~~日マニを求める7077ル根中生~~
~~認めない訳にはいきませんが~~、山谷のどおしよ
うもない 魅力を感じている事には対して何
か上手く説明できませんが、たとえば、渋谷や
六本木の 表な 若者の街。街中がラブホテルの
書き割りパネルのようで、その書き割りを一枚
倒したら 山谷の ~~表な~~ 風景が 四方に広がる
~~青~~よみな ~~表な~~ 妄想にいつもかられて、舞台裏をの
どきこみながら 私は どうしても山谷に行きた
くなります。キレイキレイの街の ^(あまりにも)うあ、への王見実
の向うに、景色対にそれを支える底辺労働者の
あまりにも多くの労働力 ~~表な~~に 今さらながらおどろ
いています。 とゆう訳で 私は山谷 ~~表な~~が
好きです。

AZUE KUMAI. 1986.1.8

親切心から言、てあげると、Personal Effects
は、もう少し ~~●~~ 異質なモノゴト、考え方を導入し
た方がよい。P.E. ナショナリズムに陥、ている。

いまひとつ、親切心から教えてあげると
中井英夫の『虚無への供物』には、実はこう書か
れてある。

「しかし、この1955年、そしてたぶん、これから先もたぶんうが
無責任な好奇心の創り出すお楽しみだけは君たちの
ものさ。何か面白いことはないかなあとキョロキョロして
いけば、それにふさわしい突如で残酷な事件が、い
くらでも現実にもまれてくる、いまはそんな時代だが、
その中で自分さえ安全地帯にいて、見物の側に廻
ることが出来たら、どんな痛ましい光景でも喜んで
眺めようという、それがお化けの正体なんだ。お
れには、何という痛ましい虚無だ355とか思えな
い。あの菩薩の名に因んだ詩は、何か優雅な意
味らしいが、おれをもじって言えば、そんな虚無への供
物のために、おれは一滴の血を流したんじゃない
い」

また、親切について言、ておくと、僕は痛め
のともなわぬ発言は一切信用していない。
自分がいまの状況 ~~●~~、あるいは我々の歴史が
免れていると思、い入 ~~●~~ むことの出来る
人を、愚かだ」と考えている。

こうした僕の発言にした、て、僕は別のモノ
との関わりから生まれている。

諸問題

外部のゴト

1985.12.11 (水) HAL

<個人的事件>

- サラリーマン生活からの引退で一層なまけものになる。
- P.E.をはじめて月末になると悩む
- 運転免許をとって死に近づく。
- やけどをして身体的特徴をゆやす。

<今年気に入ったもの>

- 「風の旅団」---とにかく衝撃でした。
- 「酔いどれの誇り」---J・クラムリーはハードボイルドの服を着て美しい話を聞かせてくれた。
- 映画は「砂の惑星」、「死霊のはらわた」、「バスケットケース」、「グイテオドロム」などのクワクスもの、TVで「遊星からの物体X」を放映したのもうかしかった。
- 美術はほとんど見ていないけれど遠藤彰子の迷宮のような都市とそこに遊ぶ子供たちの絵が印象に残る。

<ワースト・コンタクト>

- 「東京グランギニョル」にはたまさかた。「見世物」という文句にさそれて行ったかこんなにつまらない芝居も珍しい。衝撃的なまでに見えすいたストーリーに恥しくなった。格好はつけているみたいだけど今はこういうのが人気あるたぶん。客が多過ぎる。
- 10個目を思いつけないのが今年最大の悩み。この紙を前にして越年してしまつた。みんな無理言ってごめんね

福本 健修

・6日「馬鹿園」役者たちほうますきくらしいにうまく、美術・装置もよくできている。しかし何か物足りない。小指にかかった赤い糸をたぐり寄せような喪失と探案の旅。消去、たはずの過去を呼び起こすこの典型的なパターンがうまくまとまりすぎているせいか。

・11日霜田宅へ「1985」の原稿届け手料理の豪華な手巻寿司にちそうさま、そのあと「祭見の会」で物産5周年記念」という内輪の忘年会のような才劇集を見る。セリフを覚えていないのもまた愛敬といった感じで軽快に楽しんで演、ている。女優陣のたくましさも年季のせいか。

・12日「全日本プロレス」武道館の3階席から見るとうすら淋しい。馬場ファンの異常な多さに驚く。試合と共に客の野次も真剣な所と虚構に身をゆだねるような所の境を不気味なエネルギーとしてまわっている。

・17、18日「昔の交差点」久し振りに音と行為の催しを見たせいか17日は面白かった。風巻隆は以前よりも音に迫力を感じる。田中エノの人間を脱ぎ捨てていくような初源的な声と動きが印象的。

・30日「夢一族」の芝居。年が明けて2日コンサート。3日映画と山谷に通ったけれどその催し物だけを楽しんで山谷の人達を支援する意識が僕には薄い。こんな快樂主義的傾向はここに書くものにもあちかちかして、面白かった。つまりなかつたと言うことは悪いとは思わないがそれだけですれちゃまっている自分が最近いせになつてきている。昔から自由症で自分の世界だけには満足して遊んでいた。これにや、と飽きたのか。

<HAL>=(僕の友人)の苦言も心しておきます。ただしこの「親切心」を多用した文体は傲慢になっていきます。これだけでは高見からの物言いです。「痛み」の有無だけで(これも受け手側の、独断になるかも)評価したくないし、他人にそんなことを押しつけたくもない。もっと広い気持ちで見つめていたい。(福)

※3日以降石事か何かの抽き出し。余白をどう使うかという